



西日本区中部ホームページ・<http://www.ys-chubu.jp/>

2012年9月号

「主題」

- 国際会長 : 世を照らす光になろう
 アジア地域会長 : 歳月はY'sをワイズ(賢者)にする
 西日本区理事 : 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で
 中部部長 : 前へ！ 声を掛け合い
 プラザクラブ会長 : 明日に希望を クラブに活力を
 強調月間・ポイント:【Menettes 各クラブ役員は例会にメネットを誘いましょう。Have Fun Menettes(メネットと共に楽しく)】

今月の聖句: 神から出る悪霊がサウルに臨むとき、ダビデは琴をとり、手でそれを引くと、サウルは気が静まり、良くなって、悪霊は彼を離れた。(サムエル記上 16. 23)

9月例会および今後の予定案内

【9月第1例会(野外例会)】

日時: 9月8日(土)・現地集合・10:00
 場所: 稲永公園(稲永ビジネスセンター前・052-389-5821)
 内容: パレットキッズ(中高生)とハゼ釣り
 ◆昼食の弁当は各自持参のこと。
 ◆天気による開催の有無やその他の連絡は、櫛田宛にお電話ください。(090-4866-3658)

【9月第2例会】

日時: 9月27日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 次月例会の打ち合わせ
 出席義務者: 役員(高田・櫛田・常盤)
 10月担当者(櫛田・常盤)
 11月担当者(後藤・万福寺)

【今後の予定】

- ユースコンポ報告会
 日時: 9月11日(火)・19:00-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 費用: 1500円/人
- 10月第1例会
 日時: 10月11日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 卓話「地球環境問題とその対応」
- 陶芸教室開催
 日時: 10月27日(土)・現地集合: 10:00-
 場所: 佐渡山工房
 土岐市下石町 322-2 (0572-57-2656)

8月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役 員	会 員 氏 名	出 席 者				
		1	2	①	②	③
直前会長	大島 孝三郎	○	○	○	○	
副会長	小澤 幸男	○	○		○	
書記	櫛田 守隆	○	○	○	○	
	後藤 猛	○	○	○	○	
	島崎 正剛	○		○	○	
	鈴木 誉三	○	○	○	○	
会長	高田 廣	○	○		○	
会計	常盤 真理子	○	○		○	
連絡主事	万福寺 昭美		○		○	
	① パレットキッズと釣り会 8/12					
	② 第16回中部部会 8/26					
	③					
出席率・%					100.0	
			当月		累計	
クラブファンド・円					6500	
10月号寄稿者(400字詰原稿用紙4-5枚程度)・高田						
11月号・大島／12月号・後藤／1月号・常盤						
2月号・万福寺／3月号・小澤／4月号・鈴木						

メネット(Menettes)・ワイズメンの夫人および各クラブが特別メネットとして入会を認めた女性。

8月第1例会報告

日時：8月9日(木)・16:30-20:45

場所：浩養園ビヤガーデン

7月第2例会の時、名古屋ビルジングの建て替えが話題になった。1962年(昭和37)完成から半世紀、名古屋人なら国鉄駅前の白い巨大なビルは、その名称とともに知らない人はいないだろう。屋上にあるビアガーデン・マイアミはわれわれの青春時代に1度は足を運んだ場所、懐かしさに8月の第1例会の予定を変更して、即予約を入れるもすでに満席。予定通り「卓話」に戻すのも癪(しゃく)と浩養園に変更して「暑気払い兼反省会」は、全員一致で決まった。

ということで、定刻の6時半には、YMCAの理事会出席の万福寺さんを除く8人が集合する。浩養園も歴史は古く、昭和6年にサッポロビール名古屋工場の接待所として開業した、日本最古のビヤガーデンだそうである。小澤さんは道路を隔てたところの学校からよく通った、と懐かしそうに話す。今は工場を売却した跡地にイオンタウン千種が建つ。

「エビスの黒」を注文したが「別料金です。飲み放題は、生ビールと焼酎とお酒と…、スタンドはあちらにございますのでご自由にどうぞ」と淡々と説明するウエーターの言葉を聞きながら、コンペアー乗せられたようで味気ない。ジョッキをビールサーバーの下に置いて注ぐと泡ばかり、2度目からはジョッキを傾けハンドルを徐々に下げると泡加減が丁度いい。したたか食べて飲み、制限時間の8時半を迎え、みなほろ酔い機嫌でお開きとなった。



(庭園の滝を背景にバーベキューとビールを楽しむ)

8月第2例会報告

日時：8月23日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

1. 連絡事項・高田

(1) ジャガイモ・カボチャの申し込み

値段 ジャガイモ 1600円/箱

カボチャ 2200円/箱

到着日 未定

注文数 ジャガイモ 18箱 カボチャ 11箱

(2) 今後の第1例会予定・詳細1面参照

9月 野外例会

10月 卓話「地球環境問題とその対応」・森健氏

11月 卓話・大島

(3) 2012年度チャリティラン開催

事務局より実行委員会の立上げに各クラブのYサ担当者を委員とする旨と、8月30日(木)午後7時からYMCA会議室で第1回実行委員会召集の連絡がありました。Yサ担当者小澤さんの参加をお願いします。

(4) 仙台被災地見学ツアー

グランパスクラブより上記復興見学ツアー、実施日11月3日-4日のお誘いがありました。

(5) ユースコンボ報告会・詳細1面参照

(6) 中部部会(8/26)参加者確認

全員参加

2. 陶芸教室参加者確認・櫛田

・プラザ-4人(大島・櫛田・後藤・島崎)

・他クラブは8/26中部部会の時、各会長確認する。

3. DBC(国内兄弟クラブ)提携の打診・小澤

東日本区グリーンクラブ、地域奉仕に神田川浄化運動を推進中、小澤さんの友だちから打診があった。今後交流を深めながらお互いを知る機会を作ることから始める。

4. YMVA連絡事項・万福寺

(1) ワイズ用名刺作成

用紙、印刷代はクラブ費用

会長以外各員10枚配布、足りなくなった場合は万福寺さんに申し出る

(2) 新年度ロースター配布

パレットキッズとマス釣り大会

11時半、日和田から子ども23人、リーダー7人、スタッフ5人の総勢35人が到着した。出発の1時半までの2時間、釣りにつかみ取り、魚の処理に串焼き、みんな揃って食事と手際よく運ばなければならない。

まず後藤さんが、エサのつけ方、ハリを飲まれたり根がかりしたときの対処法、また最後のつかみ取りには靴を履く、などのレクチュアをして釣り開始。



今年はマスが手に入らずイワナを放流した。通常イワナは釣り損じてもまた掛かるという、学習能力の低い魚だが、隣で泳いでいる仲間が次々に釣り上げられると、さすが危険を感じよう。岩陰に隠れたりエサに見向きもしなくなり、全く釣れなくなった。予定時間を早め、池の水を抜いてのつかみ取りにする。



リーダーたちが慣れない手つきでイワナをさばき、塩を振り、串は尾びれの手前まで、などと漁協のおじさんに教えてもらいながら、炭火の際に頭を下にして立てて焼く。



骨酒にすれば、などと不謹慎な思いがよぎるほど美味しそうな焼き上がりである。丁度お昼どき、日和田から持参のおにぎりを頬張りながら、「もう1本」と食欲旺盛である。「釣れない」と駄々をこねて泣いていた子もご機嫌が直ったようだ。

大島、後藤、島崎、鈴木さんお手伝いご苦労さんでした。



(櫛田 守隆)

釣り雑感

私が、小学校1年の終業と同時に福岡市東部の香椎へ引っ越して間もなく、竹竿にテグスの玉浮に針を付けた簡単な仕掛けでハゼが堤防から簡単に何匹も釣れた。特別な釣具屋もなく駄菓子屋で道具を揃えたか友達からもらったかで、時々海へ出かけた。釣った魚をどうしたかは覚えていないが、食膳に上った記憶はない。

あれから20年間は竿を握ったことは一度もなかったが、名古屋へ51年に結婚で転居して、ふたたび海釣りと再開をした。豊川生まれの豊川育ちの女房の叔父が黒鯛釣りを教えてくれた。どこの港だったか覚えはないが、タまずめを狙って叔父と出かけて、チャリンコの黒鯛ではあったがビギナーズラックというやつで私によく釣れた。そして釣りの楽しさにはまった。師崎、浜名湖、北陸、越前、若狭、富山、三重。遠くは伊豆の離島にイナンバと岡釣り、磯釣りとよく通った。叔父は船酔いが苦手で船釣りはほとんどやらなかった。地磯では黒鯛専門。離島の磯釣りは、底もの狙いで口白や石鯛を得意としていた。

とにかく研究熱心で、初めての釣り場では地元の釣り師に根掘り葉掘りと情報を聞き出して釣果につなげていた。釣り方、餌、ポイント、時合。収集できる情報はとにかく集めた。そして釣り人は決して本当のことは言わないと、その裏を考えていた。私は、もちろん釣れるに越したことはないが、そう剥きになってはいなかった。気分転換が好きだった。日常と違う環境が好きだった。

その叔父が今年の5月に他界した。どんなことがあっても必ず生き残る類の強い意志の持ち主と思っていたが、あっさりと旅立った。港でフグが釣れるとその場でさばいて持ちかえっても家族には絶対に食べさせなかった。私が名古屋に来て最初に面識を得た二人の男は女房の父親とこの叔父だったが、昨年と今年二人ともこの世を去った。

(島崎 正剛)

中部部会報告

第16回中部部会は8月26日、名古屋駅新幹線側の名鉄ニューグランドホテルで、西日本区役員の方、熊本・広島など他地域のクラブの方123人が参集して開かれた。

第一部 式典

荒川部長は「中部が一步でも前に進み、一人一人が声を掛け合い、友情を深め豊かな奉仕活動ができるように」とのあいさつ。引き続きYMCAの野村理事長は「きのう開催された『どまつり』に3万人の若者が参加した。この若者たちを掬い上げる努力をするのが、我々

の使命である」、成瀬理事は「来年6月の西日本区大会開催に向けて、準備作業をされている会員のみなさんに感謝します」と語る。

最後に司会者から「今年の献金は、7月の北九州豪雨により大きな被害を受けた阿蘇YMCAの支援に」との評議会決定の趣旨を伝える。



第二部 講演会

荒川部長の教え子、東海大大学院威嚇研究科より音楽療法の研究で医学博士号を取得した、近藤真由氏の「音楽が脳機能、自律神経に与える働きー音楽療法の立場からー」の講演会が行われた。

昔から音楽は宗教と結びつき儀式や呪術などに用いられ、その効果は古くから知られているが、現在「音楽療法」と言えば、一般の人たちは「音楽を聴いて心が癒されるもの?」程度の認知度である。日本音楽療法学会の定義は、『生理的・心理的・社会的な効果を応用して心身の健康の回復、向上を図ることを目的とする代替医療・補完医療』である。その対象は、発達障害児、精神科、高齢者など領域は広い。

いま近赤外分光法による前頭葉の計測を行っている。活性曲や鎮静曲を聴かせ前頭葉に流れる血流の時系列変化を観測し、音楽聴取によるさまざまな効果が客観的指標としての可能性が示唆された。最後は振ると音が出る打楽器を持ち、アメージング・グリーンに繰り返し”ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ アーメン”の歌詞を付け、振りながら楽しそうに歌うワイズの面々の表情は音楽療法が有効であることを立証している。日本ではまだ「音楽療法士」の国家資格はなく、職業として確立されていない、とのことですが、この分野でのパイオニアとして頑張ってください。



第三部 フェローシップアワー

冒頭、式典の折集められた8万円ほどの献金は、阿蘇YMCAの水害復興支援金として九州部部長の福島貴志氏に託された。

女性2人のバイオリン演奏によるミニコンサート、あいさつ、食前の感謝に乾杯、昼食はコーヒーとケーキだけ、ピルーが腹にしみわたる。わがクラブは全員参加、1テーブルに9人が揃い飲んで食う。新会長の高田さんはあちこちのテーブルを回りながら、杯を重ねているようだ。今年1年まだまだ色々ありますが、体を壊さないように動いてください。



8月の5句

大島さんが、郡上八幡、ひるがの、荘川へ出かけたときに詠んだ五句を寄稿くださいましたので、ご披露いたします。

- ・吉田川 飛び込む子らの 勇気かな
- ・川岸に 群れ飛び遊ぶ 赤とんぼ
- ・風そよぎ 赤とんぼ舞う 飛騨の里
- ・鮎料理 装い変えて 五種メドレー
(魚でん・甘露煮・フライ・塩焼き・鮎雑炊)
- ・清流に 手網(たも)持つ父子(おやこ) 何狙う
(孝三郎)

Zoom・セミの羽化



7月28日午後8時ごろ、庭の地中に6年間眠っていた幼虫が、戸袋に這い上がり羽化していた。これからわずか20日の間、精一杯鳴きなさい。